

## JFT/SaaS マニュアル

WebEDI 画面マニュアル

第 1.3 版  
2020/05/11

株式会社 TOKAI コミュニケーションズ

---



## 目次

---

1. はじめに .....	3
1.1. WEBブラウザ .....	3
1.2. その他の要件 .....	3
2. ログイン/メニュー .....	4
2.1. ログイン画面 .....	4
2.2. メニュー .....	6
3. 受信ボックス .....	7
4. 送信ボックス .....	11
5. 新規送信 .....	14
6. 処理確認 .....	15
7. ユーザ設定 .....	18
8. 共通エラー画面 .....	25

## 変更履歴

版	年月日	変更	変更内容
0.9	2011/10/01		初版発行
1.0	2012/01/10		第 1.0 版発行
1.1	2014/03/07	P.16	処理確認のステータスにファイル無し、受信失敗を追加
1.2	2016/05/17	P3	Web ブラウザ要件の更新
		P5	ログイン画面の変更
		P14	0 バイトファイル送信を追加
		P15	表 6-1 項目名の修正
		P.18-24	ユーザ情報設定画面の画像変更 メールアドレス設定画面を追加
		P25	セッションタイムアウト時間の変更
1.3	2020/05/28		JFT10 対応

## 1. はじめに

JFT/SaaS サービスにおけるWebEDI画面では、インターネット網を利用してWeb上でファイルの送受信を行うことができます。

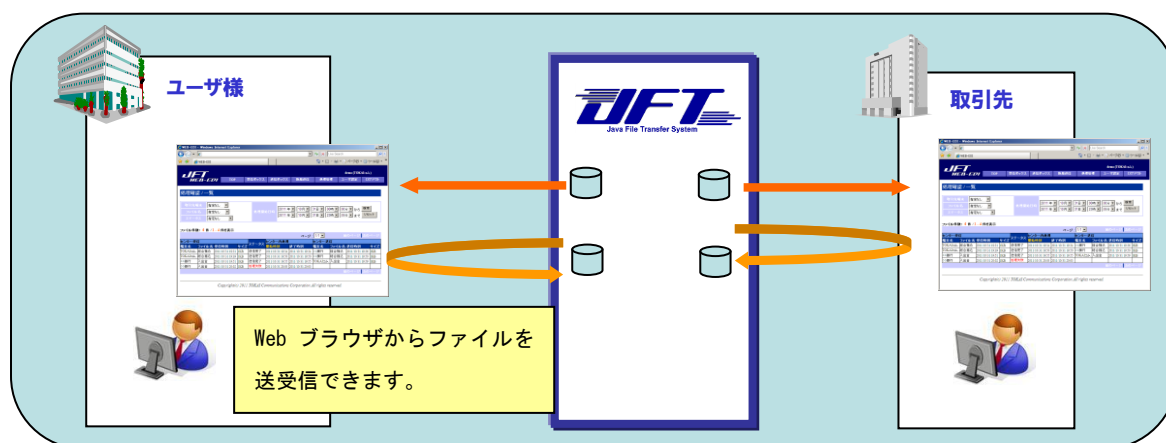


図 1-1 WebEDI画面

### 1.1. Web ブラウザ

以下のブラウザで動作確認を行っております。

- Internet Explorer 11
- Microsoft Edge バージョン14以上
- Google Chrome バージョン49以上

※ Web ブラウザは下記の設定を行う必要があります。

- Cookieを有効にする。
- JavaScriptを有効にする。

### 1.2. その他の要件

- WebEDI画面は上記Webブラウザ以外に必要な要件は特にありません。

## 2. ログイン／メニュー

WebEDI 画面を利用するには、ログインが必要となります。

### 2.1. ログイン画面

#### (1) ログイン画面／概要

WebEDI 画面のログイン画面では、ユーザ ID とパスワードを入力した後、「送信」ボタンをクリックすることでログインすることができます。ログインに成功すると、TOP 画面が表示されます。「リセット」ボタンをクリックすると、入力内容がキャンセルされます。



図 2.1-1 ログイン画面

#### (2) ログイン画面／ユーザ ID の保存

「ユーザ ID の保存」をチェックしてログインすることで、ユーザ ID を Cookie に保存することができます。ログインに成功すると、ユーザ ID が保存されます。ユーザ ID を保存すると、次回からは保存されたユーザ ID が表示され、入力する必要がありません。ただし、パスワードは毎回入力する必要があります。「ユーザ ID の保存」のチェックを外してログインすると、前回保存したユーザ ID が削除されます。



図 2.1-2 ログイン画面(ユーザIDの保存)

## (3) ログイン画面／モード:標準|セキュア(SSL)

セキュア(SSL)モードを使用すると、送信するデータが暗号化されるので、プライバシーにかかわる情報を第三者に見られずにやり取りをすることができます。

標準モードのとき「セキュア(SSL)」をクリックすると、セキュア(SSL)モードに切り替わります。セキュア(SSL)モードのときは標準モードの選択はできません。



図 2.1-3 ログイン画面(標準モード時)



図 2.1-4 ログイン画面(セキュア(SSL)モード時)

## 2.2. メニュー

### (1) メニュー／概要

正常にログインされると、下のような TOP 画面が表示されます。

画面上部がメニューとなり、右上にはログインユーザ名と端末名称が表示されます。



図 2.2-1 メニュー

メニューには以下の項目があります。

表 2.2-1 メニューの説明

NO	メニュー	説明
1	TOP	TOP 画面(ログイン時は表示中)に遷移します。
2	受信ボックス	受信ボックス画面に遷移します。
3	送信ボックス	送信ボックス画面に遷移します。
4	新規送信	新規送信画面に遷移します。
5	処理確認	処理確認画面に遷移します。
6	ユーザ設定	ユーザ情報設定画面に遷移します。
7	ログアウト	ログアウトします。

### 3. 受信ボックス

受信ボックス画面は、JFT/SaaS からファイルをダウンロードするための画面です。

#### (1) 受信ボックス画面／概要

WebEDI 画面へログインしたユーザに紐付いた接続先の、受信ファイルの状況が一覧表示されます。未受信ファイルに対しては、本画面よりダウンロードができます。



図 3-1 受信ボックス画面

受信ボックスでは、以下の項目で受信ファイルの状況を確認することができます。

表 3-1 受信ファイルの状況の項目

NO	項目	説明
1	ファイル名	運用ファイル名称です。
2	レコード件数	レコードの件数です。
3	サイズ	ファイルのバイト数(単位は KB で、1KB 未満は切り上げて表示)です。
4	登録日時	受信ファイルが登録された日時です。
5	受信日時	受信完了した日時です。
6	ステータス	ファイルのステータス(以下に詳細を示す)です。

ファイルステータス、および、その状態は以下となります。

表 3-2 ファイルステータスと状態

NO	ステータス	状態
1	未受信	未だ受信していない状態です。
2	受信完了	受信が完了している状態です。
3	受信失敗	受信に失敗している状態です。

(2) 受信ボックス画面／フォルダ

表 3-3 フォルダ

NO	項目	状態
1	一覧	「一覧」をクリックすると、全業務の一覧が表示されます。
2	業務別一覧	「業務別一覧」をクリックすると、ツリー上に送信業務の一覧が表示されます。 業務名をクリックすると、その業務のファイルが表示されます。
3	ごみ箱	ごみ箱の一覧が表示されます。



図 3-2 受信ボックス画面(フォルダ)

(3) 受信ボックス画面／検索・ソート・ページ移動

表 3-4 検索・ソート・ページ移動

NO	項目	状態
1	検索	検索はファイル名、ステータス、受信完了日時を条件指定して一覧を表示する機能です。
2	ソート	ファイル一覧の項目名をクリックすると、その項目で昇順にソートされます。昇順でソートされている項目名をもう一度クリックすると、降順でソートされます。デフォルトのソート項目は登録日時です。
3	ページ移動	表示件数以上にファイルがある場合は、「ページ」のセレクトボックスや、「前ページ」、「次ページ」にてページ移動できます。

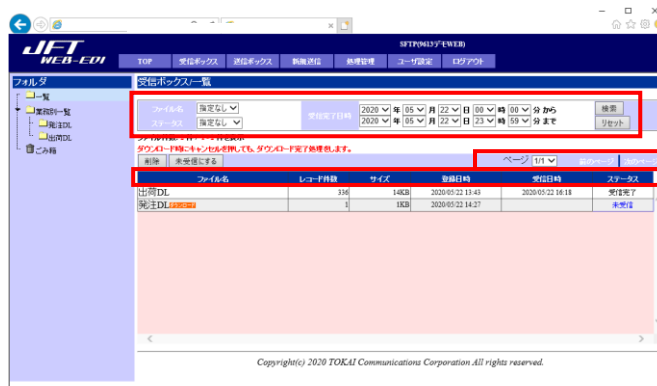


図 3-3 受信ボックス画面(検索・ソート・ページ移動)

## (4) 受信ボックス画面／削除

受信ボックスのファイルを削除することができます。ファイル名の列をクリックして [削除] をクリックしてください。[Shift] キーや[Ctrl] キーを押しながら複数ファイルを選択することで同時に削除することもできます。削除したファイルは、ごみ箱に移動されます。対象ファイルが受信手続きをしている場合や、すでに削除されていた場合は削除できません。削除できなかったファイルがあるときは、その旨をダイアログにて通知します。



図 3-4 受信ボックス画面(削除)

## (5) 受信ボックス画面／元に戻す

ごみ箱のファイルを元に戻すことができます。ファイル名の列をクリックして[元に戻す]をクリックしてください。[Shift] キーや[Ctrl] キーを押しながら複数ファイルを同時に元に戻すこともできます。元に戻したファイルは、一覧・取引別一覧に移動されます。対象ファイルがすでに元に戻されていた場合は元に戻せません。元に戻せなかったファイルがあるときは、その旨をダイアログにて通知します。



図 3-5 受信ボックス画面(元に戻す)

(6) 受信ボックス画面／ダウンロード

ステータスが未受信のファイルをダウンロードすることができます。[ダウンロード]をクリックするとダウンロードすることができます。ダウンロードしたファイルは、ステータスが受信完了になります(ただし、ステータスはすぐには変わりません。多少時間がかかります)。対象ファイルが削除されていた場合や、すでにダウンロードされていた場合はダウンロードできません。ダウンロードに失敗したときは、その旨を画面に表示します。

※ ダウンロードの途中でキャンセルしても受信したものとみなされ、そのファイルは受信完了となります。



図 3-6 受信ボックス画面(ダウンロード)

(7) 受信ボックス画面／未受信にする

受信完了したファイルを再度受信するため、未受信に変更することができます。ファイル名の列をクリックして[未受信にする]をクリックしてください。[Shift]キーや[Ctrl]キーを押しながら複数ファイルを同時に未受信にすることもできます。未受信にしたファイルは、ステータスが未受信になります。ただし、受信可能状態にする準備をするため、一旦一覧からファイルが消えます。準備が完了すると未受信として一覧に表示されます。対象ファイルが受信完了になっていない場合は未受信にできません。未受信にできなかったファイルがあるときは、その旨をダイアログにて通知します。



図 3-7 受信ボックス画面(未受信にする)

## 4. 送信ボックス

送信ボックス画面は、JFT/SaaS が行った集信の状況確認を行う画面です。

### (1) 送信ボックス画面／概要

WebEDI 画面へログインしたユーザに紐付いた接続先の、送信ファイルの状況が一覧表示されます。送信履歴や送信ファイルの取込状況を確認することができます。

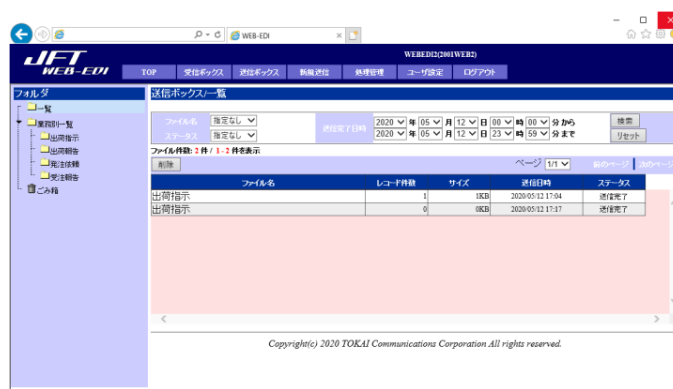


図 4-1 送信ボックス画面

送信ボックスでは、以下の項目で送信ファイルの状況を確認することができます。

表 4-1 送信ファイルの状況の項目

NO	項目	説明
1	ファイル名	運用ファイル名称です。
2	レコード件数	レコードの件数です。
3	サイズ	ファイルのバイト数(単位は KB で、1KB 未満は切り上げて表示)です。
4	送信日時	送信完了した日時です。
5	ステータス	ファイルのステータス(以下に詳細を示す)です。

ファイルステータス、および、その状態は以下となります。

表 4-2 ファイルステータスと状態

NO	ステータス	状態
1	送信中	送信処理が開始した状態です。
2	送信完了	送信処理が完了した状態です。
3	送信失敗	送信完了処理に失敗した状態です。

(2) 送信ボックス画面／フォルダ

表 4-3 フォルダ

NO	項目	状態
1	一覧	「一覧」をクリックすると、全業務の一覧が表示されます。
2	業務別一覧	「業務別一覧」をクリックすると、ツリー上に受信業務の一覧が表示されます。 業務名をクリックすると、その業務のファイルが表示されます。
3	ごみ箱	ごみ箱の一覧が表示されます。

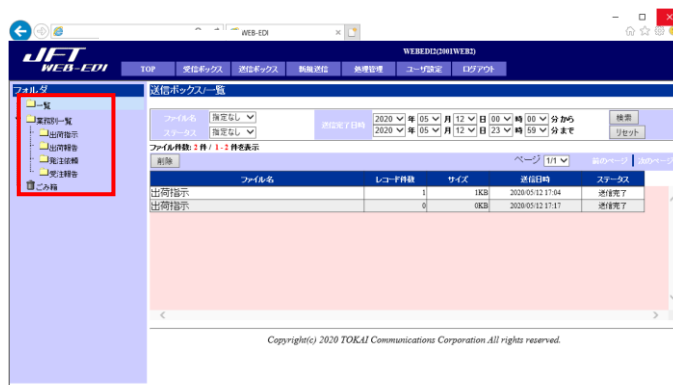


図 4-2 送信ボックス画面(フォルダ)

(3) 送信ボックス画面／検索・ソート・ページ移動

表 4-4 検索・ソート・ページ移動

NO	項目	状態
1	検索	検索はファイル名、ステータス、送信完了日時を条件指定して一覧を表示する機能です。
2	ソート	ファイル一覧の項目名をクリックすると、その項目で昇順にソートされます。昇順でソートされている項目名をもう一度クリックすると、降順でソートされます。デフォルトのソート項目は登録日時です。
3	ページ移動	表示件数以上にファイルがある場合は、「ページ」のセレクトボックスや、「前ページ」、「次ページ」にてページ移動できます。

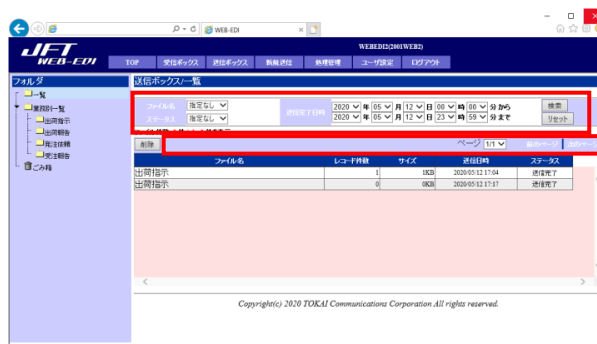


図 4-3 送信ボックス画面(検索・ソート・ページ移動)

## (4) 送信ボックス画面／削除

送信ボックスのファイルを削除することができます。ファイルの列をクリックして [削除] をクリックしてください。[Shift] キーや[Ctrl] キーを押しながら複数ファイルを選択することで同時に削除することもできます。削除処理に成功したファイルは、ごみ箱に表示されます。対象ファイルが送信手続きをしている場合や、すでに削除されていた場合は削除できません。削除できなかったファイルがあるときは、その旨をダイアログにて通知します。

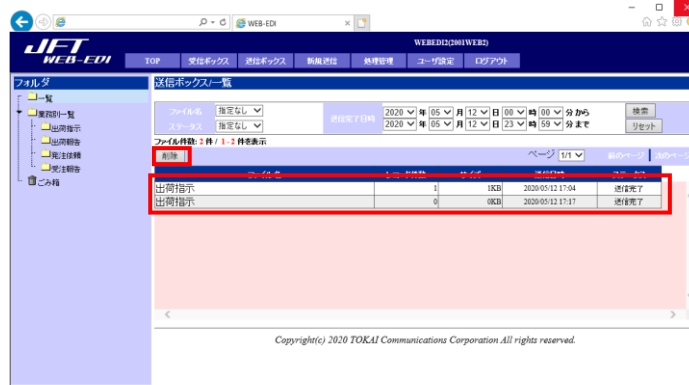


図 4-4 送信ボックス画面(削除)

## (5) 送信ボックス画面／元に戻す

ごみ箱のファイルを元に戻すことができます。ファイルの列をクリックして[元に戻す]をクリックしてください。[Shift] キーや[Ctrl] キーを押しながら複数ファイルを選択することで同時に元に戻すこともできます。元に戻したファイルは、一覧・取引別一覧に移動されます。対象ファイルがすでに元に戻されていた場合は元に戻せません。元に戻せなかったファイルがあるときは、その旨をダイアログにて通知します。

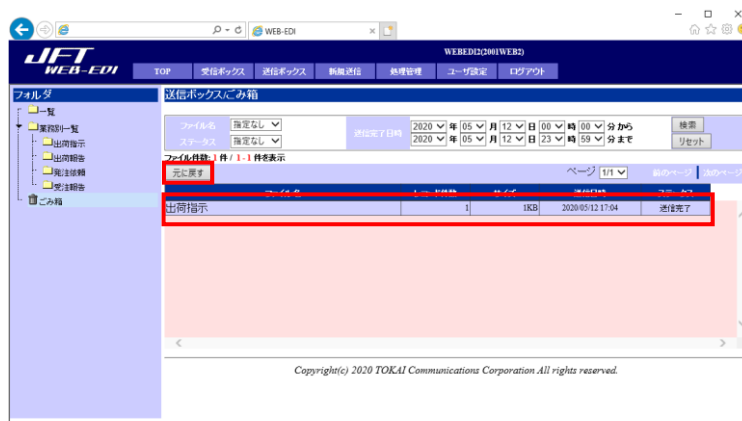


図 4-5 送信ボックス画面(元に戻す)

## 5. 新規送信

新規送信画面では、JFT/SaaS に対してファイルのアップロードを行うことができます。

### (1) 新規送信画面／概要

WebEDI 画面を利用しているユーザのローカルマシンにあるファイルを JFT/SaaS に対して送信(アップロード)を行うことができます。送信したファイルは送信ボックスより確認できます。



図 5-1 新規送信画面

ファイルを送信するには、[ファイル名]を選択し、[物理ファイル名]を入力して[送信]をクリックしてください。確認のダイアログが出ます。[OK]をクリックすると送信します。送信しない場合は[キャンセル]をクリックしてください。「送信しました。」のメッセージが出たら送信完了です。送信完了後、しばらくすると送信ボックスより状況を確認できます。

[0 バイトファイルの送信を許可する。]の左にあるチェックボックスをチェックをすると、0 バイトファイルが送信可能となります。

表 5-1 チェックボックスと物理ファイルの送信パターン

No	チェックボックス	物理ファイル	ファイルバイト数	送信
1	チェックあり	あり	0 バイトである	ファイルを送信する(0 バイトファイル)
2			0 バイトでない	ファイルを送信する
3		なし	-	ファイルを送信する(0 バイトファイル)
4	チェックなし	あり	0 バイトである	送信エラー
5			0 バイトでない	ファイルを送信する
6		なし	-	送信エラー

## 6. 処理確認

処理確認画面では、EDI 交換の状況を確認することができます。

### (1) 処理確認画面／概要

ログインしたユーザに紐付く処理管理状況を一覧表示します。サービスが受信したファイルが業務処理中かどうか、送信先の端末が集配信したかどうかなどを確認することが出来ます。

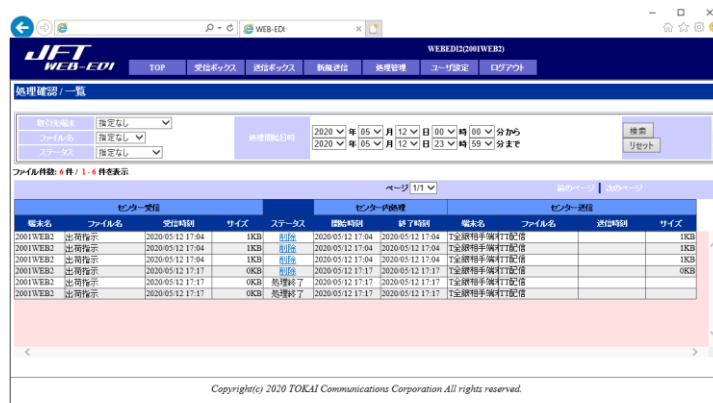


図 6-1 処理確認画面

処理確認では、以下の項目で集配信状況を確認することができます。

表 6-1 処理管理状況の項目

NO	項目	説明
1	センター受信	端末名
2		ファイル名
3		受信時刻
4		サイズ
5	ステータス	ファイルのステータス(以下に詳細を示す)です。
6	センター内処理	開始時刻
7		終了時刻
8	センター送信	端末名
9		ファイル名
10		送信時刻
11		サイズ

ファイルステータス、および、その状態は以下となります。

表 6-2 ファイルステータスと状態

NO	ステータス	状態
1	受信完了	集信が完了し、フォーマット変換等のデータ管理処理開始前の状態です。
2	受信失敗	集信に失敗した状態です。
3	ファイル無し	集信をしようとしたのですが、相手先に対象のファイルが存在しなかった状態です。
4	処理開始	JFT/SaaS サービス内のフォーマット変換等のデータ管理処理を開始した状態です。
5	処理終了	JFT/SaaS サービス内のフォーマット変換等のデータ管理処理を終了した状態です。
6	処理失敗	JFT/SaaS サービス内のフォーマット変換等のデータ管理処理に失敗した状態です。
7	送信待ち	配信の準備が完了した状態です。
8	送信完了	配信が完了した状態です。
9	送信失敗	配信に失敗した状態です。
10	削除	リトライ失敗によりファイルが削除された状態です。

※受信失敗、処理失敗、送信失敗、削除は、クリックするとエラー詳細(通信のエラー)が表示されます。

(2) 処理確認画面／検索・ソート・ページ移動

表 6-3 検索・ソート・ページ移動

NO	項目	状態
1	検索	検索は端末名、ファイル名、ステータス、処理開始日時を条件指定して一覧を表示する機能です。
2	ソート	処理管理一覧の項目名をクリックすると、その項目で昇順にソートされます。昇順でソートされている項目名をもう一度クリックすると、降順でソートされます。デフォルトのソート項目は処理開始日時です。
3	ページ移動	表示件数以上にファイルがある場合は、「ページ」のセレクトボックスや、「前ページ」、「次ページ」にてページ移動できます。

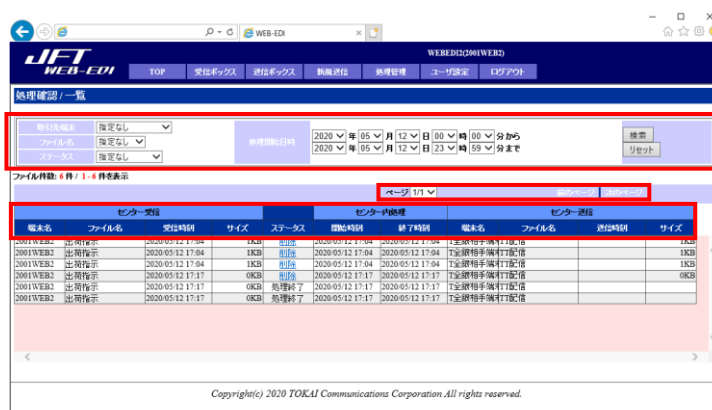


図 6-2 処理確認画面(検索・ソート・ページ移動)

## (3) 処理確認画面／処理詳細状況

ステータスが受信失敗、処理失敗、送信失敗、削除のいずれかの場合、そのステータスをクリックするとステータスの詳細が表示されます。

ここで表示されるステータス詳細の値は、サービス内の業務処理で設定された値です。

The screenshot shows the '処理確認画面' (Processing Confirmation Screen) for 'WEB-EDI'. The main content is a table titled 'センター受信' (Center Reception) with columns: 帳本名 (Ledger Name), ファイル名 (File Name), 受信時刻 (Reception Time), サイズ (Size), ステータス (Status), and 日付 (Date). The table contains 6 rows of data. The 5th row has a status of '送信失敗' (Transmission Failed), which is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it.

帳本名	ファイル名	受信時刻	サイズ	ステータス	日付
2001WEB2	出荷指示	2020-05-12 17:04	1KB	成功	2020-05
2001WEB2	出荷指示	2020-05-12 17:04	1KB	成功	2020-05
2001WEB2	出荷指示	2020-05-12 17:04	1KB	成功	2020-05
2001WEB2	出荷指示	2020-05-12 17:17	1KB	成功	2020-05
2001WEB2	出荷指示	2020-05-12 17:17	1KB	送信失敗	2020-05
2001WEB2	出荷指示	2020-05-12 17:17	0KB	処理終了	2020-05

図 6-3 処理確認画面(処理詳細状況)

## 7. ユーザ設定

ユーザ設定画面より以下の変更ができます。

表 7-1 ユーザ設定画面機能一覧

NO	設定一覧項目	機能	概要
1	ユーザ情報設定	ユーザ名変更	ログイン時に表示されるユーザ名の変更を行います。
		パスワード変更	ログインユーザのパスワードの変更を行います。
		最大表示件数変更	送受信ボックスの一覧表示件数の変更を行います。
2	メールアドレス設定	配信配置通知	配信配置通知メールアドレスの変更、
		メールアドレス設定	有効/無効化を行います。
		リトライオーバー通知 メールアドレス設定	リトライオーバー通知メールアドレスの変更、 有効/無効化を行います。

(1) ユーザ情報設定画面／概要

ユーザ情報設定画面では、ユーザ情報(ユーザ名、パスワード、最大表示件数)を変更することができます。変更したい項目に入力して[送信]ボタンをクリックしてください。[リセット]をクリックすると、入力内容がキャンセルされます。

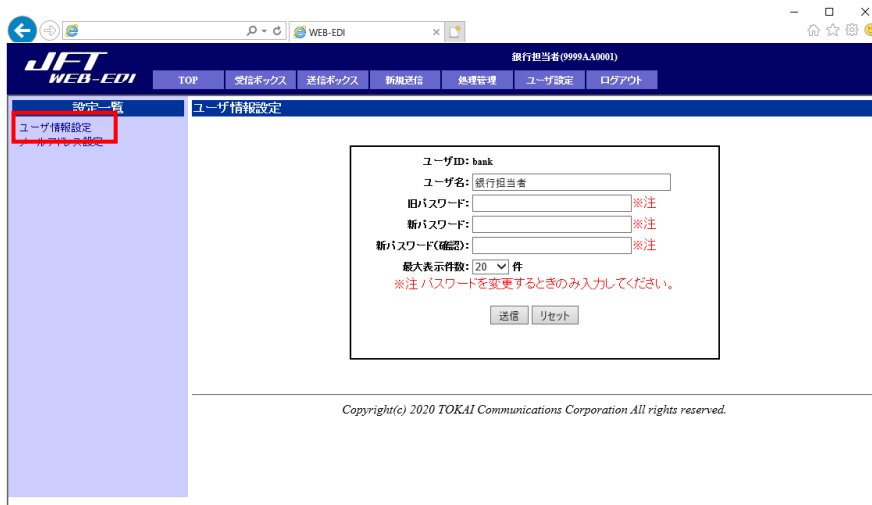


図 7-1 ユーザ情報設定画面

## (2) ユーザ情報設定画面／ユーザ名の変更

[ユーザ名]に現在のユーザ名が表示されます。変更する場合は、現在のユーザ名を削除して新しいユーザ名を入力し[設定]をクリックしてください。

ユーザ名に使用できる文字は英数字・漢字で 32 桁以内 (漢字は 1 文字 2 桁で計算) です。

※ ユーザ名の変更にはパスワードを入力する必要はありません。

図 7-2 ユーザ情報設定画面(ユーザ名変更)

## (3) ユーザ情報設定画面／パスワードの変更

パスワードを変更するときは[旧パスワード]に現在のパスワードを入力してください。

[新パスワード]に新しく設定したいパスワードを入力してください。確認のため[新パスワード(確認)]にも同じパスワードを入力してください。3 つとも入力したら、[設定]をクリックしてください。

パスワードに使用できる文字は半角英数字で、8 桁以上 16 桁以内です。

図 7-3 ユーザ情報設定画面(パスワード変更)

(4) ユーザ情報設定画面／最大表示件数の変更

最大表示件数とは、送受信ボックスの一覧で1ページに表示する件数です。

[最大表示件数]に現在の最大表示件数(デフォルト 20 件)が表示されます。変更する場合は、10・20・30・50・100・500の中から選択して[設定]をクリックしてください。

※ 最大表示件数の変更にはパスワードを入力する必要はありません。



図 7-4 ユーザ情報設定画面(最大表示件数の設定)

(5) メールアドレス設定画面／概要

メールアドレス設定画面では、「配信配置通知メールアドレス」と「リトライオーバー通知メールアドレス」の設定(メールアドレスの変更、設定中メールアドレスの有効化および無効化)が行えます。

※本画面には、利用者所属のお客様はすべての取引で使用している端末一覧が表示され、取引先所属のお客様は、ログインしたユーザに紐づく1つの端末のみ表示されます。



図 7-5 メールアドレス設定画面

(6) メールアドレス設定画面／配信配置通知メールアドレス設定

配信配置通知とは、JFT/SaaS からファイルを送信可能となったタイミングで指定されたメールアドレス宛にメール連絡を行う機能です。(WebEDI,FTP,HULFT などのプロトコルで使用可能です。)

配信配置通知メールアドレスは、TO と CC の設定が可能です。メールアドレスの新規設定もしくは既存のメールアドレスを変更する場合は、入力欄にメールアドレスを入力し[アドレス変更]をクリックしてください。

入力欄に複数のメールアドレスを設定する場合は、メールアドレスをカンマ(,)で区切って入力してください。

入力するメールアドレスは、以下の表 7-2 の入力チェックを行っております。

表 7-2 入力チェック

NO	チェック内容	内容
1	入力文字列全体	カンマ(,)含め 128 文字以内
2		表 7-3 の入力可能文字であること
3	メールアドレスローカルパート	2 文字以上 64 文字以内
4	メールアドレスドメイン名	2 文字以上 87 文字以内

※メールアドレス構成例

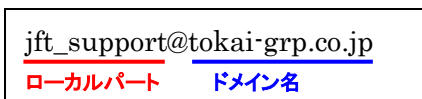


表 7-3 入力可能文字

NO	文字種	値
1	英小文字	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
2	英大文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
3	数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
4	記号	.(ドット) _(アンダースコア) -(ハイフン) @(アットマーク)
5	記号(メールアドレス区切り文字)	,(カンマ)

※その他の文字を含むメールアドレスを使用される方は、サポートまでお問い合わせください。

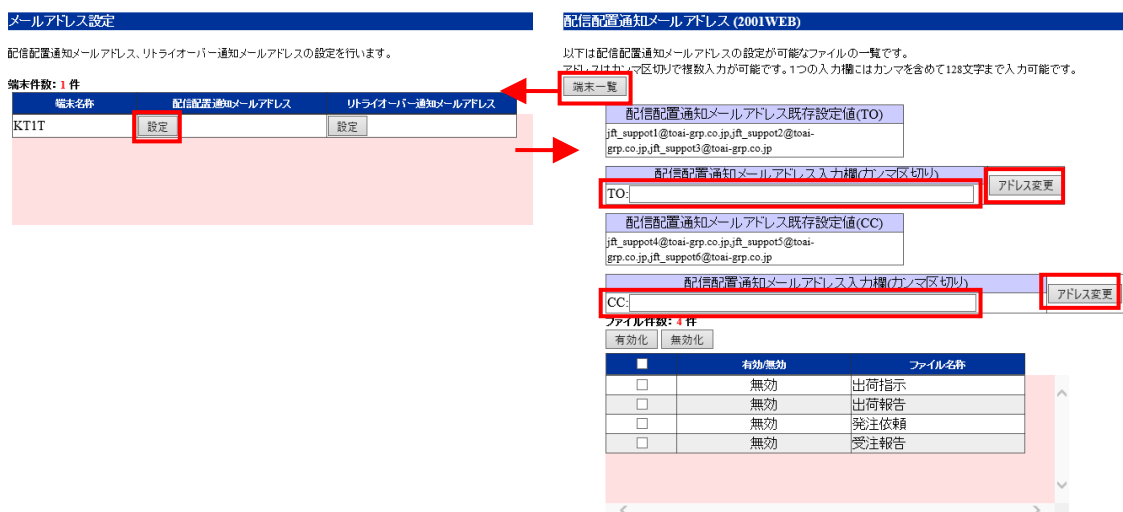


図 7-6 メールアドレス設定画面(配信配置通知メールアドレス設定)

(7) メールアドレス設定画面／配信配置通知メールアドレス有効化、無効化

画面下部ファイル一覧の「有効/無効」欄が有効となっているファイルが配信配置通知対象です。チェックボックスにチェックし[有効化]をクリックすると「有効/無効」欄が有効となり、該当のファイルが配置されると配信配置通知のメール連絡が行われます。チェックボックスにチェックし[無効化]をクリックすると「有効/無効」欄が無効となり、メール連絡は行われません。

※ 項目名のところにあるチェックボックスをチェックすると、全チェックボックスがチェックされます。逆にチェックを外すと、全チェックボックスのチェックが外れます。

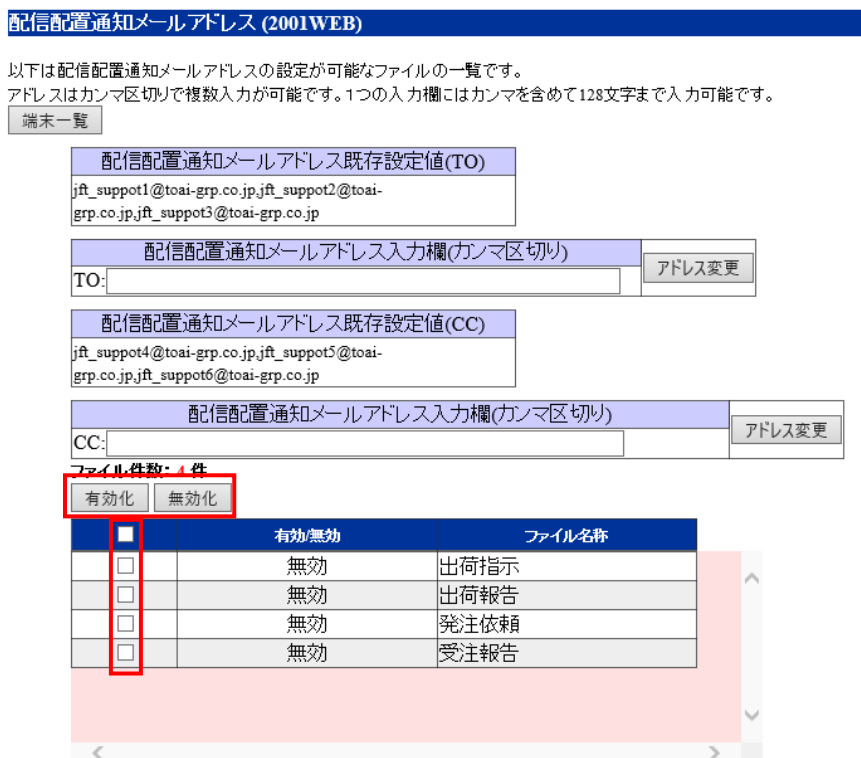


図 7-7 メールアドレス設定画面(配信配置通知の有効化、無効化)

## (8) メールアドレス設定画面/リトライオーバー通知メールアドレス設定

リトライオーバー通知とは、JFT/SaaS からの配信で規定回数リトライが失敗した場合、指定されたメールアドレス宛にメール連絡を行う機能です。

リトライオーバー通知メールアドレスは、TO のみ設定が可能です。メールアドレスの新規設定もしくは既存のメールアドレスを変更する場合は、入力欄にメールアドレスを入力し[アドレス変更]をクリックしてください。

入力欄に複数のメールアドレスを設定する場合は、メールアドレスをカンマ(,)で区切って入力してください。

入力するメールアドレスは、表 7-2 の入力チェックを行っております。

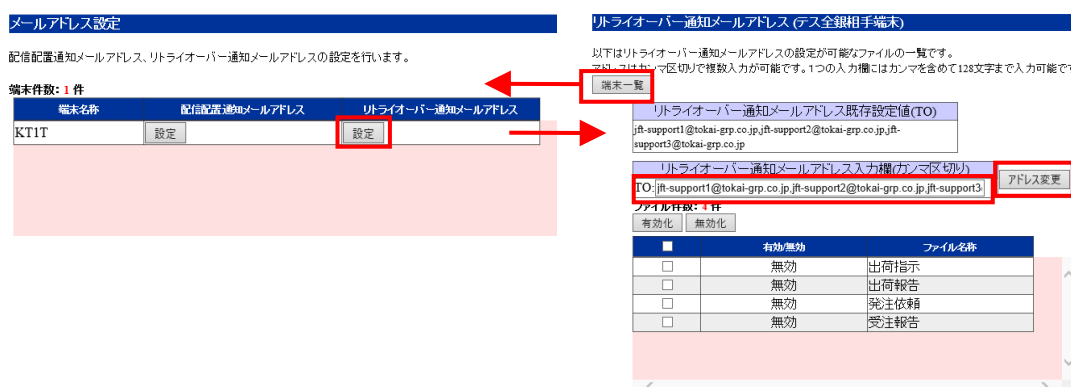


図 7-8 メールアドレス設定画面(リトライオーバー通知メールアドレス設定)

- (9) メールアドレス設定画面/リトライオーバー通知メールアドレス有効化、無効化  
 画面下部ファイル一覧の「有効/無効」欄が有効となっているファイルがリトライオーバー通知対象です。  
 チェックボックスにチェックし[有効化]をクリックすると「有効/無効」欄が有効となり、該当のファイルがリトライオーバーとなった場合、リトライオーバーのメール連絡が行われます。チェックボックスにチェックし[無効化]をクリックすると「有効/無効」欄が無効となり、メール連絡は行われません。

※項目名のところにあるチェックボックスをチェックすると、全チェックボックスがチェックされます。逆にチェックを外すと、全チェックボックスのチェックが外れます。

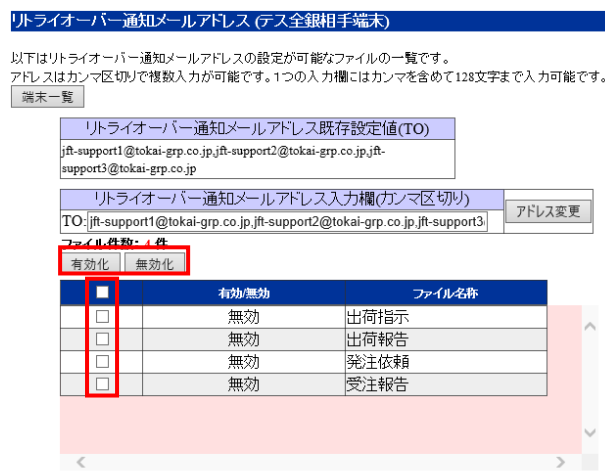


図 7-9 メールアドレス設定画面(リトライオーバー通知の有効化、無効化)

## 8. 共通エラー画面

---

WebEDI 画面が表示するエラーを以下に示します。

(1) セッションタイムアウト

次のような画面が出た場合は、セッションがタイムアウトしているため、再度ログインをしてください。

※ セッションタイムアウト値は、24 時間となっています。



図 8-1 セッションタイムアウト画面



Copyright © 2011-2020 TOKAI Communications Corporation All Rights Reserved.

本書およびその中に記載されているソフトウェアはライセンスの所有者に対してのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用または複製することが許されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。本書中の技術的あるいは校正上の誤りや不正確な記述に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる責任、債務は負いかねますのでご了承下さい。

JFT は株式会社 TOKAI コミュニケーションズの登録商標です。JFT は株式会社 TOKAI コミュニケーションズの著作物であり、JFT にかかる著作権、その他の権利は株式会社 TOKAI コミュニケーションズおよび各権利者に帰属します。Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。